

子どもたちを見守る サポーターの愛をお届け

サポーターズ アイ EYE&愛



学校で子どもたちと関わるのは担任の先生だけと思いませんか。実は学校には、子どもたちを支えるたくさんの「サポーター」がいるんです！今号では、そんな子どもたちの1日を見守るサポーターのまなざしと愛をお届けします。

問い合わせ 学校教育課 ☎7190-5779・FAX 7191-1212

子どもたちの登校を見守るサポーター

地域のサポーター

「横断中」の黄色い旗を持ち子どもたちを見守るのは、主に地域に住むボランティアや保護者のかた。20年以上も朝の見守りを行うボランティアの森岡さんは、子どもたちが事故などの危険な目に遭わないよう常に気を配り、必要に応じて「気を付けて！」などと声を掛けていました。

子どもたちが
元気で安全に登校
できることを
願っています



▲地域の子どもの見守る
森岡武久さん(逆井小)



▲あいさつ運動に参加する田中義通さん
(名戸ヶ谷小)

名戸ヶ谷小学校の校門前では、子どもたちと一緒にあいさつ運動をしている地域のボランティアの姿がありました。ボランティアの田中さんは、あいさつのできる子に育ててほしいという願いを込めて、自ら元気よく子どもたちの目を見てあいさつをしています。

低学年支援教員

朝8時過ぎ、風早北部小学校の昇降口付近に立っていたのは、低学年支援教員の尾崎先生。登校する子どもたちの見守りや手助けをしています。



▲子どもたちの表情や様子を確認



▲上履きへの履き替えもサポート

登校時刻が過ぎると、欠席連絡と下駄箱の靴を照らし合わせ、来るはずなのに来ない子がいないかを確認。その後は、1時間目の授業のため教室へと向かっていきました。私たちも尾崎先生について行ってみましょう！



2・3面でも、たくさんのサポーターが登場します

この「まなふる」(P1~4)は抜き取ってお読みください

見つけた! 子どもたちを支えるサポーター

学校は「できないことをできるようにしていく場所」。不安よりもワクワクをたくさん持って、学校に来てくださいね!



▲低学年支援教員・尾崎ミヨさん(風早北部小)

尾崎先生は、算数の授業を行う1年生の教室にいました。さまざまな角度から子どもたちの表情や様子を注意深く確認し、必要に応じて声掛けや指導を行います。このように、低学年支援教員は入学してから日の浅い小学1・2年生を学習面・生活面からサポートしています。



▲一人一人に合わせてフォロー

1時間目「算数」 低学年支援教員

小学1・2年生を見守る👁️👁️



2時間目「体育」



中休み



3・4時間目「生活科」 地域のサポーター

子どもたちの地元愛を育む❤️



登校から下校まで、子どもたちはたくさんのサポーターのEYEと愛に支えられて学校生活を過ごしています。どのようなかたが、どのような目線や思いで子どもたちに関わっているのか、ある1日の学校生活を紹介します!

毎日の給食を支えている栄養士。日々の献立作成や食材の管理、食育の授業などを行います。栄養バランスを考慮しながら、子どもたちに安全・安心で食べやすいものを提供できるように心掛けています。



▲給食の調理過程を確認

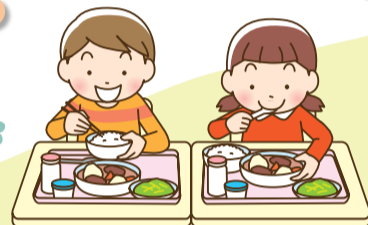
メニューが豊富でとてもおいしい給食を作るので毎日楽しみにしてくださいね!



▲栄養教諭・加藤悠里圭さん(松葉一小)

子どもたちの成長を支える❤️

給食 栄養士



けがや病気を手当てしながら、その背景に抱える不安や問題がないかということも見るようにしています。どんなことでも相談できる、そんな場所でありたいと思っています

けがをしたり体調が悪くなったりしたら…@保健室
養護教諭

子どもたちの健康を見守る👁️👁️



▲養護教諭・青柳真由美さん(十余二小)

けがや病気の手当てはもちろん、子どもたちの健康観察やメンタルケア、校内の環境衛生・感染症対策などもしています。毎日、子どもたちが元気に安心して過ごせるよう目を配っています。



▲身体測定で子どもたちの成長をチェック



▲けがに合わせて手当てします



▲子どもたちがお店の人にインタビュー

縁の下の力持ち! コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)

市では、地域・家庭・学校が協働して子どもたちを育てる「地域とともにある学校」を目指して、市内全小・中学校のコミュニティ・スクール化を進めています。

●コミュニティ・スクールとは…

「学校運営協議会」を設置した学校のことで。協議会には、地域のかたや保護者、学校の先生などが集まり、この学校(区)に通学する子どもたちにどのように育ってほしいか、そのための課題や解決策を話し合います。

Pick UP! 「逆井小コミュニティ・スクール」の活動



▲学校運営協議会の様子



▲栽培委員と寄せ植え

▲校草



子どもたちに寄り添い、本を好きになってもらえるようお手伝いしますので気軽に学校図書館に来てくださいね!



子どもたちに読み聞かせ▶

図書の授業では、学校図書館指導員が読み聞かせをしたり、調べ学習をサポートしたりします。子どもたちの興味や関心、発達段階に応じて一人一人に合った1冊を選び、子どもたちと本をつなぐ架け橋になれるよう心掛けています。

▲学校図書館指導員・松崎麻由さん(松葉二小)

希望する子どもたちに向け、宿題や各クラスの進度に合った学習プリントを活用する学びの場です。支援する学習アドバイザーは地域のボランティア。毎回、開始前に打ち合わせを行い、一人一人の意欲を引き出す声掛けや丸付けの仕方を工夫しています。



▲子どもたちの学習を支援

名前を覚えてもらったとき、解けなかった問題が解けた瞬間、お礼の手紙や折り紙をもらったとき、うれしさとやりがいを感じます

放課後学習を見守る👁️👁️

放課後@放課後子ども教室「ステップアップ学習会」学習アドバイザー



▲市内大学の教育学部生も活躍中(柏五小)

子どもたちの興味・関心を育む❤️

5時間目「図書」
学校図書館指導員



下校
地域のサポーター



子どもたちの下校を見守る👁️👁️



昼休み・掃除



放課後@こどもルーム
こどもルーム指導員

おうちの人の
お迎えまで見守る👁️👁️

こどもルーム指導員の見守りのもと、子どもたちが宿題や遊び、読書をして過ごします。おやつは事前に指導員全員で検食を行い、アレルギーに配慮しながら慎重に準備しています。



▲毎日、開所前に打ち合わせを行います

下校時には、地域のボランティアが子どもたちの下校を見守ります。酒井根東小学校では、黄色のベストとキャップを身に着けたボランティアのかたが、子どもたちが安全に下校できるよう5カ所に分かれて毎日パトロールしています。



▲パトロールボランティアの皆さん(酒井根東小)

2年生の生活科の授業で行う「まち探検」では、地域のボランティアなどと一緒に事業所を回り、自分たちの住むまちについて学びます。土小学校では、スーパーや酒屋、ゴルフ場や交番など、32もの地元事業所が協力しました。

日々のパトロール中に
元気な子どもたちに
会えることを
楽しみにしています!

自ら話してくれる子はもちろん、そうでない子にもこちらから声を掛け、気持ちの面でもサポートができればと思っています。家でも学校でもない第3の居場所として、安心して過ごしてくださいね!



▲こどもルーム指導員・熊谷敦子さん(柏一小)

逆井小学校の花「エビネラン」の復活

逆井小の校歌や校章のモチーフとなっている「エビネラン」。宅地開発等で見かけなくなってしまった象徴の花を復活させようと、地域のかたから株を譲り受け、校内へ植え付けました。今後も、この活動に賛同してくれる地域のかたや学校運営協議会委員、そして栽培委員の子どもたちと、少しずつ逆井小学校の花「エビネラン」を復活させていく予定です。



▲春に花咲く「エビネラン」

プールのヤゴ捕り

「昆虫博士」と呼ばれる、昆虫に詳しい学校運営協議会委員が中心となり、6月にプールでヤゴ捕りが行われました。捕まえたヤゴは教室で育て、トンボになるまで様子を観察します。こうした「手に触れ、目で見る体験活動」は、子どもたちに深い学びと更なる好奇心を育てます。



▲トンボの講義に聞き入る子どもたち



▲プールに入り、ヤゴを捕まえます

Leave No One Behind ～柏の児童生徒 誰一人取り残さない～

各種相談など、詳しくは
柏市教育委員会のホーム
ページをご覧ください



詳しくはこちら▶

市では、「Leave No One Behind ～柏の児童生徒 誰一人取り残さない～」をスローガンに掲げ、小・中学校入学前、入学後を問わず生活指導、不登校支援、特別支援教育、就学相談を行っています。悩み事や不安があれば、いつでも気軽にご相談ください。

問い合わせ 児童生徒課 ☎7191-7210・FAX 7191-1212

発達特性に応じた支援



うちの子の発達に合った就学先を相談したい → **就学相談窓口へ ☎7128-2227(予約制)**

ウェルネス柏にある就学相談窓口では、お子さんの発達等に心配がある保護者のかたを対象に、お子さん一人一人に合った支援や就学先(※)を一緒に考えていきます。

※県立特別支援学校、小・中学校の特別支援学級、通級指導教室、通常の学級



医療的ケアが必要なお子さんの相談も受け付けています

喀痰(かくたん)吸引や導尿等の医療行為を必要とするお子さんに対して、医療的ケア看護師を配置したり、訪問看護ステーションとの委託契約を行ったりして、安全・安心な学校生活を送ることができるような体制を整備しています。



Q 「特別支援学級」って何をするとところ？

A 発達特性に合わせた教育を行うところです

市内全ての市立小・中学校には、特別支援学級が設置されています。お子さんの特性に応じた教育課程を組み、自分の力でできることを増やしたり、周囲との関係の作り方などを学んだりします。

Q 言葉の発音や聞こえ方などが心配…

A 通級指導教室へ通うことができます

市内10校に、ことばの教室、きこえの教室、情緒の教室などの「通級指導教室」が設置されています。週に1時間程度通うことができ、相談・通級の申し込みは在籍校で行うことができます。



▲特別支援学級・通級指導教室はこちら

教育相談・不登校相談



●学校にはさまざまな相談に乗ってくれる専門家がいます

各相談については、在籍校へお問い合わせください。

学校で相談できる 心理の専門家

↓
スクール
カウンセラー

保護者の子育ての悩み、お子さんの交友関係や学業、発達等の心配事を相談できる心理の専門家です。全ての小・中学校で定期的に面接相談ができます。保護者だけでなく、お子さん自身も相談ができます。

学校で相談できる 福祉の専門家

↓
スクール
ソーシャルワーカー

学校や日常生活で生じている問題に対し、さまざまな制度やサービス、関係機関を活用して解決に導くお手伝いをする福祉の専門家です。「どこに相談したらよいか分からない」といった場合も、ご相談できます。家庭訪問等も行っています。

Q&A こんな時は、どこに相談したらいいの？

Q 学業・交友関係・不登校について相談したい

A 教育支援室へ

未就学児から中学生までの学業、不登校、交友関係、親子関係、発達に関することについて、面接相談や電話相談を行っています。



▲詳しくはこちら

Q 不登校支援は…

A 教育支援センター@市内5カ所

市内の小・中学生を対象とした不登校支援として、学習指導や基本的な生活習慣の改善のための相談などを行っています。市内には、きぼうの園、大津ヶ丘、増尾台、豊四季台、柏たなか(今年4月に開設予定)の5カ所にあります。



▲詳しくはこちら



▲きぼうの園(十倉二)